【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【公開番号】特開2016-129721(P2016-129721A)
【公開日】平成28年7月21日(2016.7.21)
【年通号数】公開・登録公報2016-043
【出願番号】特願2016-82476(P2016-82476)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２４Ｃ
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月9日(2016.9.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技媒体を用いて遊技者が遊技を行うことが可能であり、所定の付与条件が成立したことにもとづいて価値を付与可能な遊技機であって、
遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータと、
価値の付与を制御する付与制御用マイクロコンピュータと、を備え、
前記遊技制御用マイクロコンピュータは、
要求信号を前記付与制御用マイクロコンピュータに出力する要求信号出力手段と、
前記所定の付与条件が成立したことにもとづいて、付与すべき価値の量を特定可能な付与量データを記憶する付与量記憶手段と、
前記付与量記憶手段に記憶された付与量データにもとづいて、付与すべき価値の量を特定可能な信号を前記付与制御用マイクロコンピュータに出力する付与量出力手段と、を含み、
前記付与制御用マイクロコンピュータは、
前記要求信号出力手段が出力した前記要求信号を入力したことにもとづいて応答信号を前記遊技制御用マイクロコンピュータに出力する応答信号出力手段と、
前記付与量出力手段により出力された信号にもとづいて、当該信号により特定される量の価値を付与する付与制御手段と、を含み、
前記応答信号出力手段は、所定のエラーが発生したときに、前記遊技制御用マイクロコンピュータが当該所定のエラーを認識可能なデータを、前記応答信号の所定ビットを異ならせることにより設定し、当該設定がなされた前記応答信号を前記遊技制御用マイクロコンピュータに出力するエラー信号出力手段を含む
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明による遊技機は、遊技媒体（例えば、遊技球）を用いて遊技者が遊技を行うことが可能であり、所定の付与条件が成立したこと（例えば、遊技球が入賞口に入賞したこと）にもとづいて価値を付与可能な遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御用マイクロコンピュータ（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０）と、価値の付与を制御する付与制御用マイクロコンピュータ（例えば、払出制御用マイクロコンピュータ３７０）と、を備え、遊技制御用マイクロコンピュータは、要求信号を付与制御用マイクロコンピュータに出力する要求信号出力手段と、所定の付与条件が成立したことにもとづいて、付与すべき価値の量を特定可能な付与量データを記憶する付与量記憶手段と、付与量記憶手段に記憶された付与量データにもとづいて、付与すべき価値の量を特定可能な信号を付与制御用マイクロコンピュータに出力する付与量出力手段と、を含み、付与制御用マイクロコンピュータは、要求信号出力手段が出力した要求信号を入力したことにもとづいて応答信号（例えば、接続ＯＫコマンド）を遊技制御用マイクロコンピュータに出力する応答信号出力手段（例えば、払出制御用マイクロコンピュータ３７０におけるステップＳ７４１５，Ｓ７４２０８を実行する部分）と、付与量出力手段により出力された信号にもとづいて、当該信号により特定される量の価値を付与する付与制御手段と、を含み、応答信号出力手段は、所定のエラーが発生したときに、遊技制御用マイクロコンピュータが当該所定のエラーを認識可能なデータを、応答信号の所定ビットを異ならせることにより設定し、当該設定がなされた応答信号を遊技制御用マイクロコンピュータに出力するエラー信号出力手段を含むことを特徴とする。そのような構成により、遊技制御用マイクロコンピュータ側が付与制御用マイクロコンピュータ側の制御状態を認識することができる。